

# 列島 NEWS

東京スター銀行は1日から、台湾に住む顧客向けに日本の不動産を購入するためのローン商品を投入する。同行は今年6月に台湾大手の中国信託商業銀行の傘下に入った。中国信託と連携して富裕層向けサービスの強化方針を掲げており、今回の商品はその第1弾になる。

台湾に住んでいる顧客が投資用不動産や日本国内のセカンドハウスなどを購入する場合に、最大5億円を融資する。購入する不動産は原則として東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の中心部にある物件が主な対象。非居住者向けの不動産購入ローンを定型商品として扱うのは邦銀で初めてになる。

円安の影響もあり、台湾では富裕層による日本の不動産への投資熱が高まっている。東京スター銀行は商品投入と同時に、日

## 台湾顧客に不動産ローン

### 東京スター銀、富裕層に的

本語と中国語のバイリンガルの職員を置いた専用デスクを設置する。日本語と中国語の両方で顧客に対応する体制を整え、台湾の富裕層に対応する。

中国信託は東京スター銀の買収を機に、法人と個人の両面で営業をてこ入れする。台湾の富裕層マネーの運用先として日本の不動産購入を支援するほか、日本の中小企業によるアジア進出も支援する方針だ。

台湾富裕層向けサービスを強化

